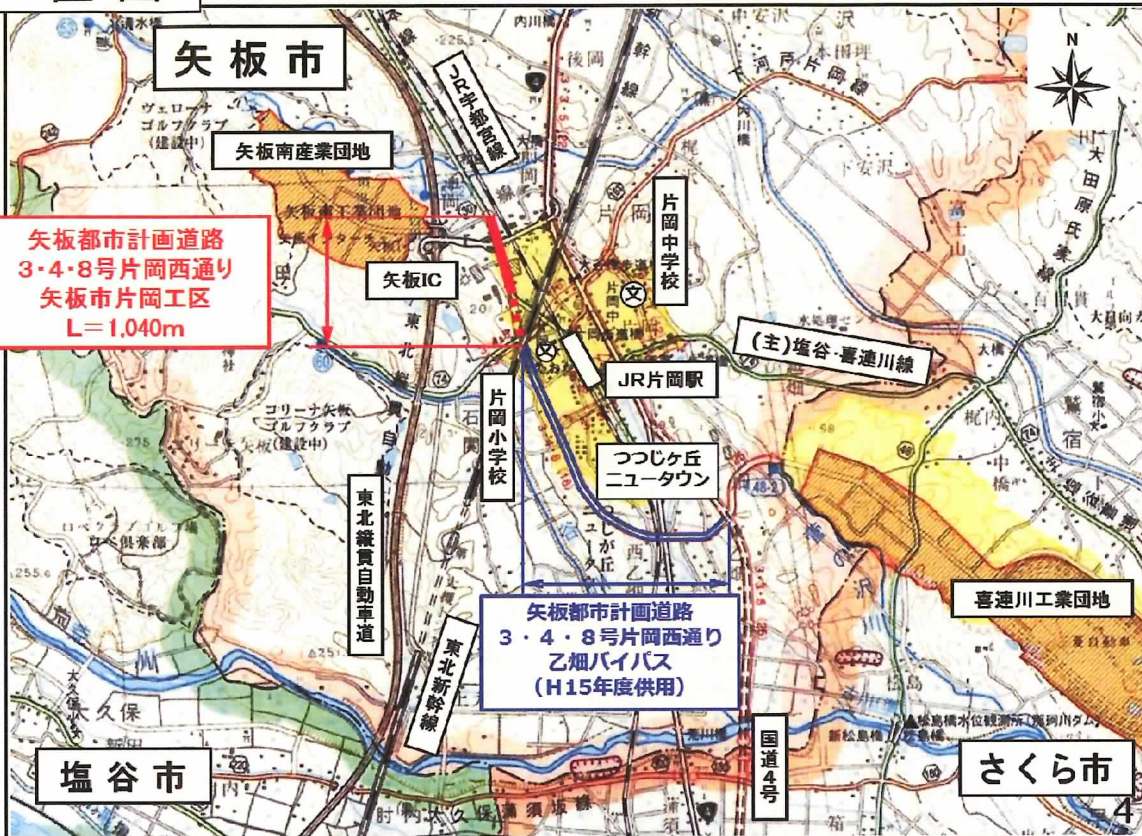


街路事業の再評価概要書

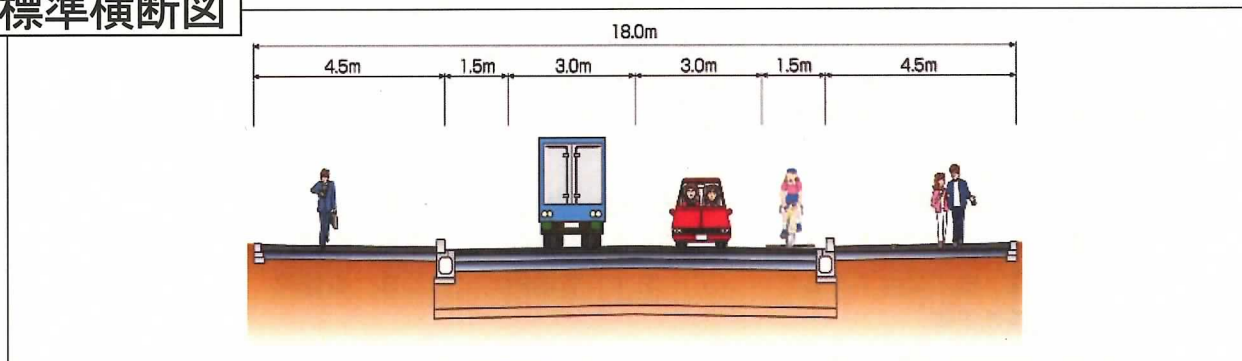
		番号	
		3	
		事業主体	
		栃木県	
事業名	街路づくり事業	事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	矢板都市計画道路 3・4・8号 <small>かたおかにしどお</small> 片岡西通り	事業箇所名	<small>やいたしかたおか</small> 矢板市片岡
事業区間	<small>やいたしかたおか</small> 矢板市片岡	事業延長	1,040m
H14年度事業化	S48年度都市計画決定 (H14年度変更)	H14年度用地着手	H17年度工事着手
事業期間	(H29) H14年度～H34年度	事業 進捗 状況	基準年次：【平成29年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費] 全体事業費	[11.5(11.6)億円] 19.1(19.1)億円		[うち用地補償費] [10.6億円] [92%] 既投資事業費 15.9億円 83%
事業概要			
<p>矢板都市計画道路3・4・8号<small>かたおかにしどお</small>片岡西通りは、矢板市南部の市街地から東北自動車道の矢板インターチェンジおよび国道4号にアクセスする、延長約4kmの都市の骨格を形成する幹線道路であり、矢板市南部市街地の南北軸として、地域の経済活動を支える重要な路線である。</p> <p>しかし、本整備区間周辺には矢板南産業団地やつつじヶ丘ニュータウン等が立地しており、交通が集中するため、朝夕を中心に交通渋滞が発生している。</p> <p>また、<small>かたおか</small>片岡小学校、<small>かたおか</small>片岡中学校やJR<small>かたおかえき</small>片岡駅が立地しているにもかかわらず、歩道が狭隘であり、さらに未整備区間も存在するため、通勤通学の自転車・歩行者が危険な状況となっている。</p> <p>このため、良好な市街地の形成を促進するため、バイパス整備及び現道の拡幅により、交通の円滑化を図るとともに、安全で快適な自転車・歩行者空間を確保する。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等			
都市計画法に基づく事業認可期間の延伸			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体 B/C=1.9		50.9億円	26.2億円
2) 残事業 B/C=7.2		21.5億円	3.0億円
② 事業の整備効果等			
<ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞緩和と交通の円滑化 自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保 市街地や地域産業拠点と東北縦貫自動車道や国道4号との連絡強化 			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅区間(約680m)は、平成21年度に供用した。 残る区間(約360m)については、用地の取得及び工事を推進している。 			
② 今後の事業進捗の見込み			
<ul style="list-style-type: none"> 今後は残る区間の用地の取得及び工事を推進し、平成34年度完成を目標に事業完了を図る。 			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
<ul style="list-style-type: none"> 再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを縮減 当該工区の建設発生土の公共工事間を他工事に再利用しコストを縮減 			
② 代替案立案等の可能性			
<ul style="list-style-type: none"> すでに大部分の用地を取得しており、本計画が最適である。 			
事業の対応方針(案)		本計画で事業を継続する。	

事業箇所 (位置図・概要図)

位置図



標準横断図



概要図

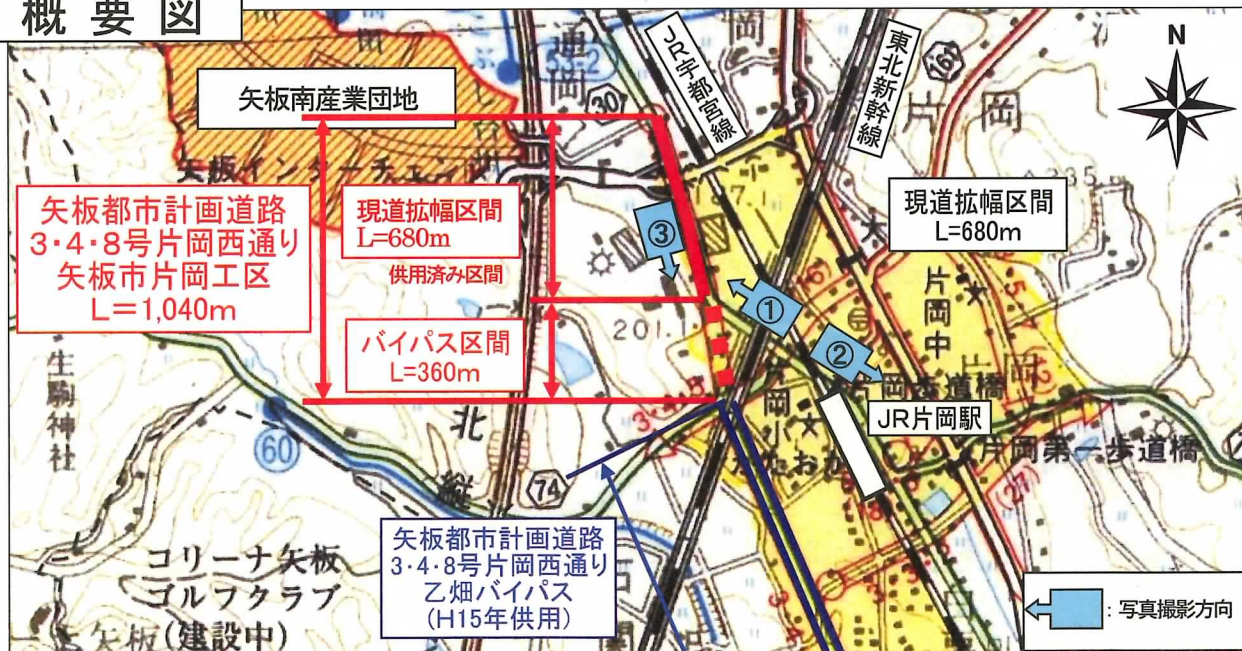




写真 1 : 現道の渋滞状況



写真 2 : 現道の道路状況



写真 3 : 部分供用状況